

日高地域広域公共バス

運行開始記念セレモニー



JR日高線(鶴川・様似間)が廃止・バス転換される4月1日、『日高地域広域公共バス運行開始記念セレモニー』がえりもと苦小牧を結ぶ「特急とまも号」の静内到着時にあわせ行われ、日高管内7町長や関係者が出席しました。この日は、広域の通院や買い物などの利便性の向上が期待され、この日は、午前7時18分に静内ターミナルに到着し、バスを見送りました。

コロナに負けるな!!

今年もたくさんの鯉のぼり

4月19日、新冠町商工会青年部(西村修司部長・会員23名)は、認定子ども園ド・レ・ミの敷地に52匹の鯉のぼりをあげました。

今年、鯉のぼりが不足していたため、新冠町商工会女性部(西村悦子部長・会員35名)が手作りににより、鯉のぼりの形をした布を作成し、その布に園児と商工会青年部が手形などの模様をつけ鯉のぼりを作成しました。



新冠町商工会では、鯉のぼりが老朽化により年々数が減っているため、各家庭で不要となったものがあれば寄附を随時受け付けています。

新学期を前に新冠建設協会による

春のボランティア清掃



4月5日、新冠建設協会(佐藤淑人会長)に加盟する町内業者19社による、春の清掃活動が行われました。この活動は、子どもたちに気持ち良く登校してもらおうと毎年行われているもので、参加した82名の会員は、市街地や山間部の一部の地区に分かれ、道路脇にたまった砂の除去や排水溝周りの枯草の除去などの清掃作業に励みました。

ケイセイマサキ建設(株)

支障木伐採で地域貢献



4月5日、役場会議室で若園島山内線の道路支障木の伐採による地域貢献を行った、ケイセイマサキ建設株式会社(正木健太社長)に対し、鳴海町長から感謝状が贈呈されました。正木社長は「地域で仕事をさせていただいているので支障木の撤去により地域の人たちの役にたてれば」と話されました。

全長80メートルの横断幕で春の交通安全運動 人の波作戦



4月6日、今年も春の交通安全運動に合わせ、レ・コード館前で交通安全街頭啓発運動の『人の波作戦』が行われ、多くの人が活動に参加しました。

当日は、交通安全推進委員会や交通安全指導員、ライオンズクラブ、建設協会関係者など、町民約100名がドライバーに交通事故の根絶を訴えました。

日高信用金庫創立100周年

清掃活動で地域貢献



4月10日、日高信用金庫静内支店の職員ら11名が、新冠温泉レ・コードの湯の周辺と道路沿いの清掃活動を行いました。

この活動は、日高信用金庫創立100周年記念事業の一環として実施され、建物周辺、駐車場から道路沿いに捨てられた空き缶やビンなどを丁寧に拾い集めていただきました。

ま ち の 話 題

あ れ こ れ

当選証書付与式

鳴海町長2期目に向け

4月26日、役場会議室で『新冠町長当選証書付与式』が行われ、2回目の当選を果たした現職の鳴海町長に山藤雄一選挙管理委員会委員長より、当選証書が付与されました。

山藤委員長は、「今、世間は厳しい状況にはありますが、2期目の町政においてもご尽力されますことを祈念いたします」と述べられました。証書を受け取った鳴海町長は、「身が引き締まる思いです。思いやりと笑顔あふれる新冠の実現のために努めていきたい」と抱負を語りました。



マイタウンロード・クリーン運動

身勝手なポイ捨ては絶対によめよう!!



4月28日、新冠町商工会、新冠町農業協同組合と役場職員による、地域の環境美化を図るための『マイタウンロード・クリーン運動』が行われました。

この運動は、平成14年から実施されており、空き缶などのポイ捨てが特に多い、町道東泊津新冠線(左岸道路)のゴミを拾い、軽トラック2台分のゴミが集まりました。

新冠町でもワクチン接種はじまる

順次、医療従事者と高齢者へ



5月1日、新冠町に新型コロナウイルスの米ファイザー社製ワクチン975回分が到着し、5月7日、町保健センターでワクチンの優先接種が始まりました。

接種した渡部国保診療所所長は「痛みもなくあっという間に終わった。早くワクチンが行き渡りコロナが終息すれば」と効果に期待していました。